

個人投資家の皆様へ 会社説明会

第一実業株式会社（証券コード：8059）

2026年6月2日【東京】

本資料に記載している当社のデータ、戦略、将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくもので、実際の業績は種々の要因により大きく異なる可能性があり、これらの目標や予想の達成および将来の業績を保証するものではありません。



目次

01 会社概要

02 事業概要

03 業績・成長戦略

04 株価・株主還元



01 会社概要

数字でみる第一実業

創業

78年

創立 1948年

従業員数（連結）

約 1,600 名

技術者数（連結）

約 500 名

取引企業数

得意先 約 3,900社

仕入先 約 4,700社

売上高（連結）

219,140百万円

*2026年3月期

長期発行体格付け

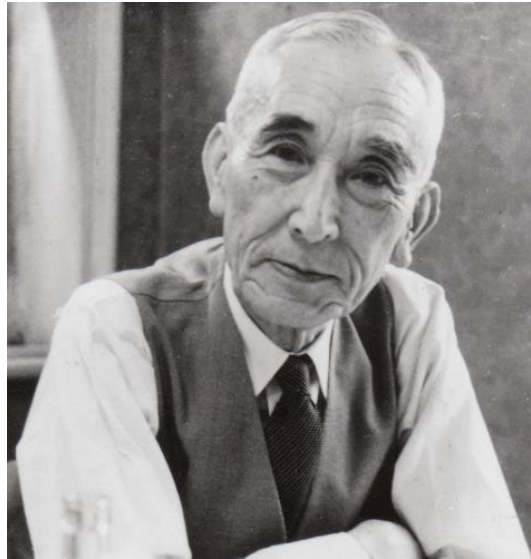
A⁻（安定的）

株式会社日本格付研究所 (JCR)

*2025年9月2日



第一実業



初代社長 倉持正次郎

創業の精神

第一実業株式会社は、商事会社として経済社会の流通機構の一翼を担い、以て社会の繁栄に寄与することを目的として協力一致して積極的に活動し、堅実に運営して企業を安定成長せしめ、此処に働く人々の生活の向上幸福の増進を図る。

創業時の事業方針

倉持は、当時横行していた闇取引を一切認めず、下記のことを徹底いたしました。

1. 機械の売り買いのみに徹する
2. 大手企業・一流企業を取引相手とする
3. 銀行との信頼関係を大切にする

積極活動
堅実運営
協力一致

第一実業のあゆみ 進化する産業機械サプライヤー

事業領域の拡大

1952年



石油・石油精製
製紙業界を開拓

1959年



プラスチック業界

1964年



自動車業界

1979年



医薬業界

1982年



エレクトロニクス業界 航空業界

1989年



2006年



二次電池分野

事業エリアの拡大

米州エリア

1972年



DAIICHI JITSUGYO
(AMERICA), INC.

中国エリア

1997年



上海一実貿易有限公司

アジアエリア

2005年



DAIICHI JITSUGYO ASIA

欧州エリア

2008年



DJK Europe GmbH

インドエリア

2018年



DAIICHI JITSUGYO INDIA

*2025年 NITTOKU (株) と合併会社設立

グループ会社の拡大

第一メカテック



産業用各種機械器具
の修理・製造・販売

第一実業ビスウィル



医薬品および電子部品外
観検査システムの開発・
製造・販売

DJ-WAVEエンジニアリング



プラント用機器及び部品
の設計・制作・
コンサルティング

第一スルザー株式会社



産業用ポンプ、攪拌機及
び関連機器の輸入販売

株式会社浅野研究所



プラスチック真空成形機
の製造・販売

海外ネットワーク

海外18カ国36拠点で事業を展開しています。

欧州エリア 4 拠点

・フランクフルト・プラハ・ブダペスト・ソフィア



Germany Czech Republic Hungary Bulgaria

米州エリア 10 拠点

・シカゴ・ヒューストン・オースティン・ノックスビル・ケンタッキー
・ケタロ・モンテレイ・レオン・サンパウロ・トロント



USA Mexico Brazil Canada

中国エリア 8 拠点



・上海・天津・蘇州・武漢
・広州・深圳・香港・台北

China



Taiwan



India

インドエリア 3 拠点

・ニューデリー・バンガロール・アーメダバード

テクニカルセンター ★ニューデリー

アジアエリア 11 拠点

・シンガポール・クアラルンプール・ジョホールバル・ペナン・バンコク
・ジャカルタ・ハノイ・ホーチミン・マニラ・ラグナ・ソウル

テクニカルセンター ★バンコク ★ハノイ ★ラグナ ★ソウル



Singapore



Malaysia



Thailand



Indonesia



Vietnam



Philippines

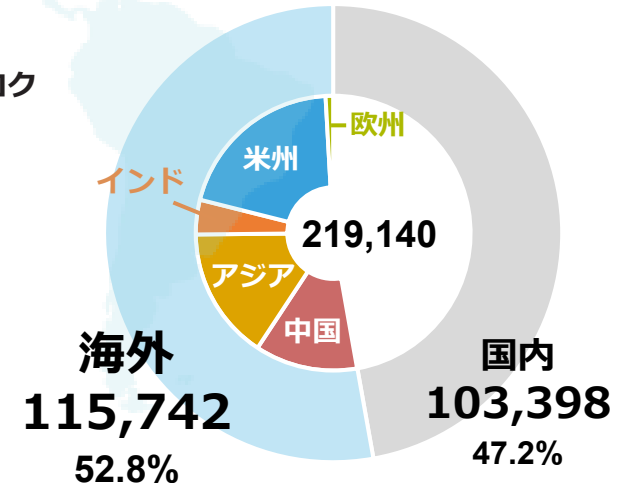


Korea

海外売上高比率

(仕向け先ベース)

2026年3月期 (単位: 百万円)



Mission

果たすべき使命

人をつなぎ、技術をつなぎ、世界を豊かに

Vision

あるべき姿

次世代型エンジニアリング商社

時代の一步先を行くモノづくりパートナーを目指し、当社独自のエンジニアリング機能を核として継続的な価値を提供する

次世代型エンジニアリング商社

現場力

モノづくり現場に
精通した営業が
最適設備を提案



技術力

多様な知見と経験で
複合的なエンジニア
リング機能を提供



国際物流機能

物流専門部署による
国際物流の効率化と
高度なリスク管理



グローバルネットワーク

18カ国36拠点の
海外ネットワークで
お客様をサポート



常に「時代の一步先を行くモノづくりパートナー」を目指し進化します

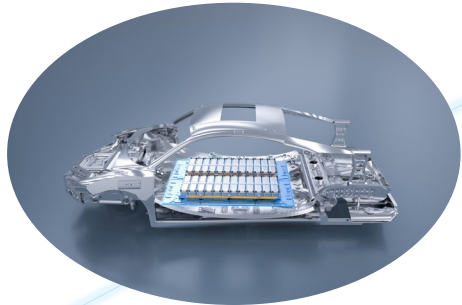
02 事業概要

事業内容

幅広い業界に事業を展開し、安定経営を継続

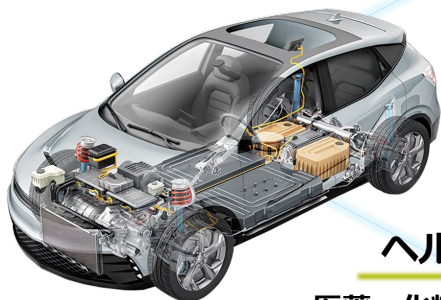
エネルギーソリューションズ

二次電池



自動車

車体内外装・駆動部品



ヘルスケア

医薬・化粧品・健康食品



航空・インフラ

空港地上支援機材



エレクトロニクス

電子基板・半導体



産業機械

樹脂成形・塗装・医療



プラント・エネルギー

石油・化学・再生可能エネルギー

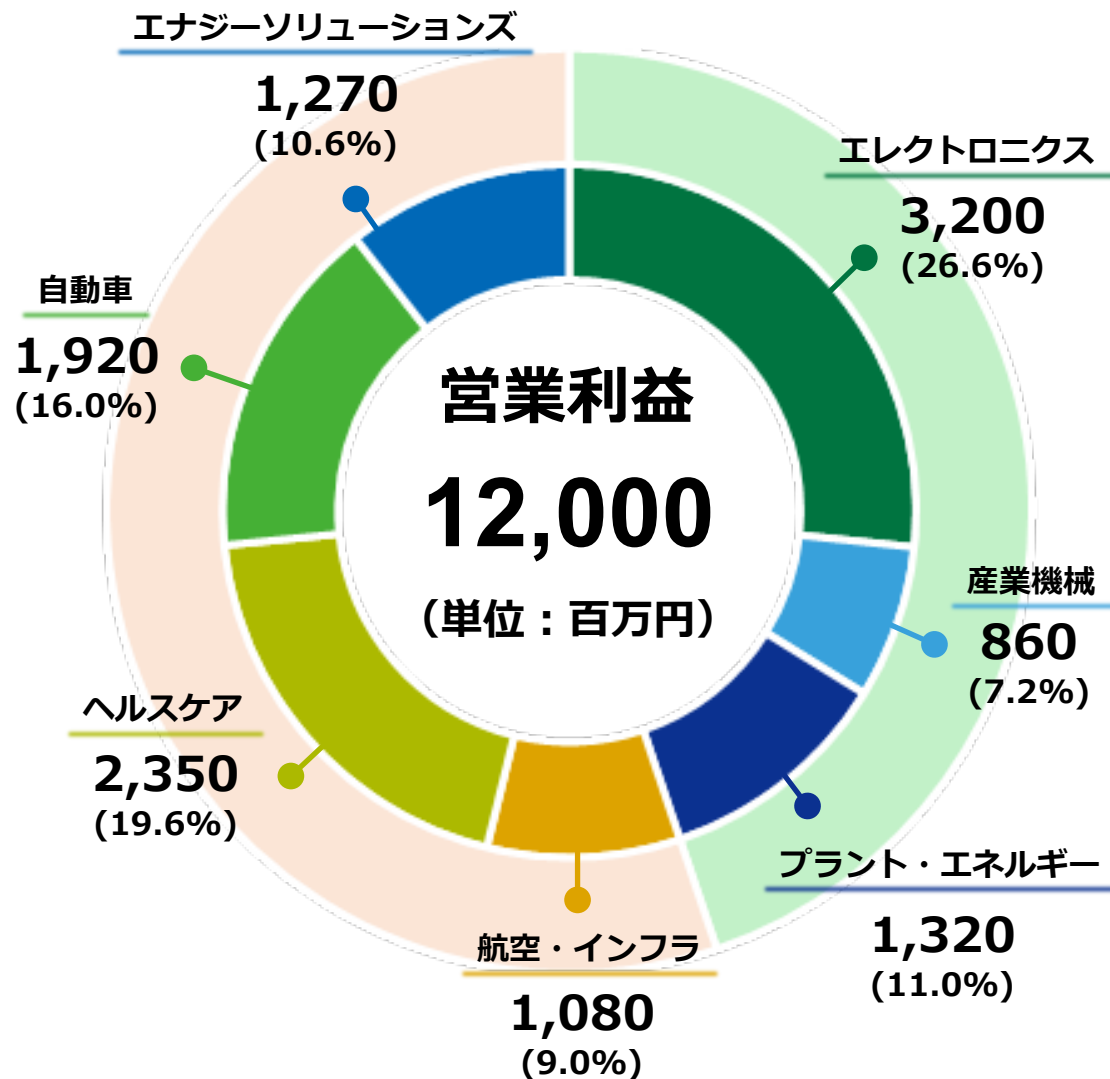
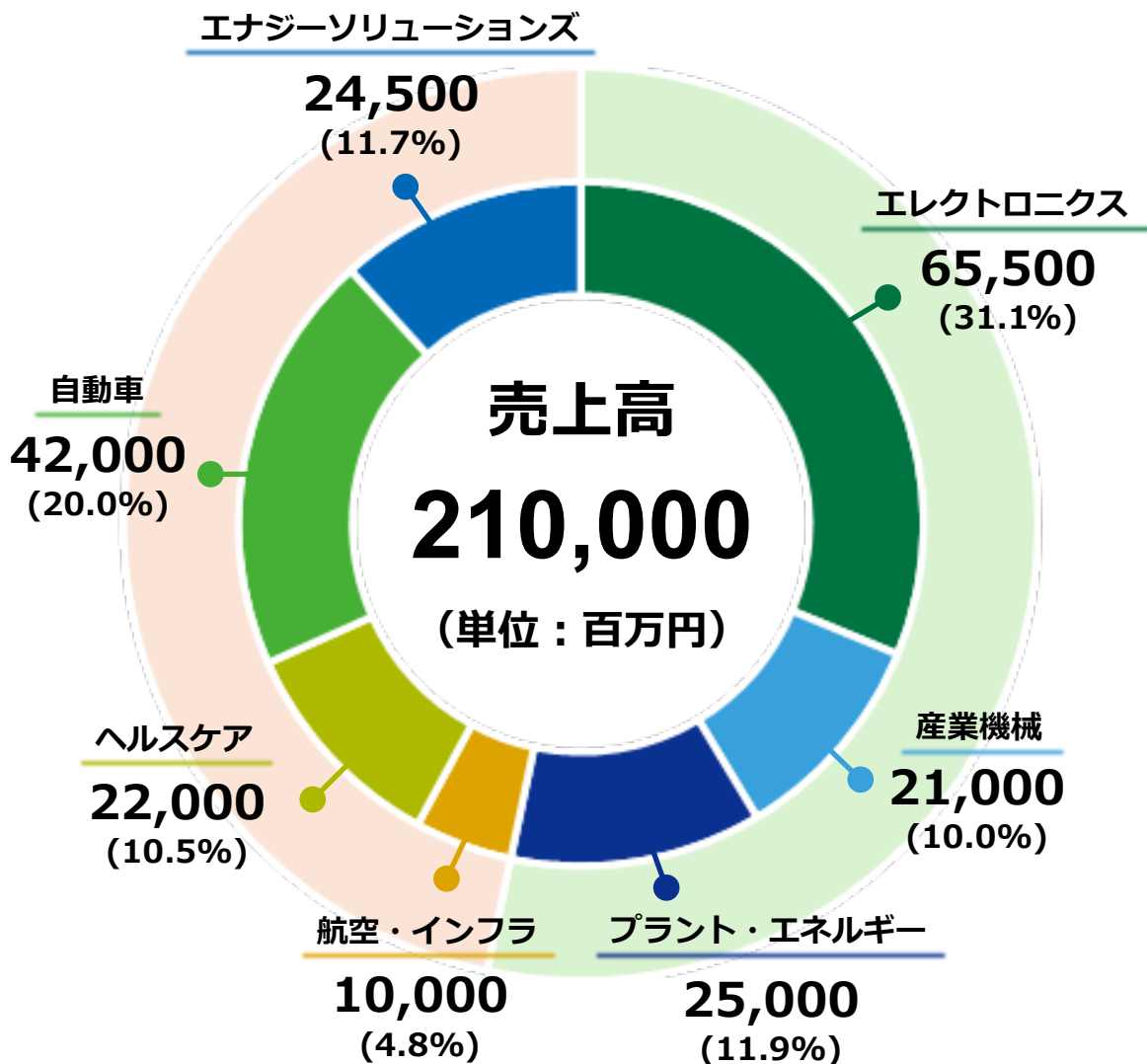


7事業

重点領域

基盤領域

2027年3月期 業績予想 (セグメント)





最先端技術と経験でモノづくりプロセスの改革をもたらすソリューション

表面実装 (SMT)

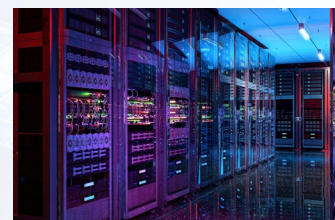
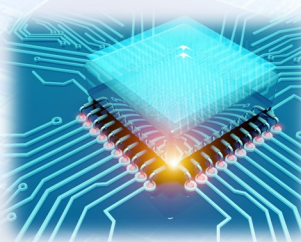
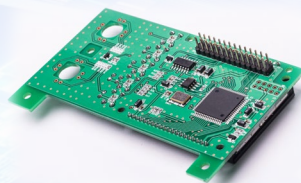
電子部品実装業界で40年以上の実績
高精度かつ高性能なSMTシステムの取り扱い

- 電子部品実装関連システム
- 基板外観検査装置
- 各種搬送装置

半導体・電子部品

半導体・電子部品の前工程および後工程、
先端パッケージ分野において各種装置の取り扱い

- FOUP/FOSB梱包装置
- 常温ウェハー接合装置
- プラズマクリーナー装置



「LOGITO」

工場や倉庫内における物流工程の
自動化を図るソリューションサービス



組立ライン・自動機

生産現場の効率化と品質向上を達成
最適な自動化設備・システムを提案





人と技術を繋ぎ「革新的なモノ作り」の提案を通じて「車社会の進化」へ貢献する！



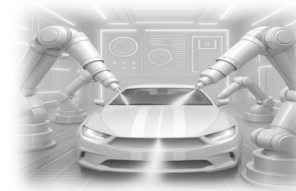
車体・内外装
領域



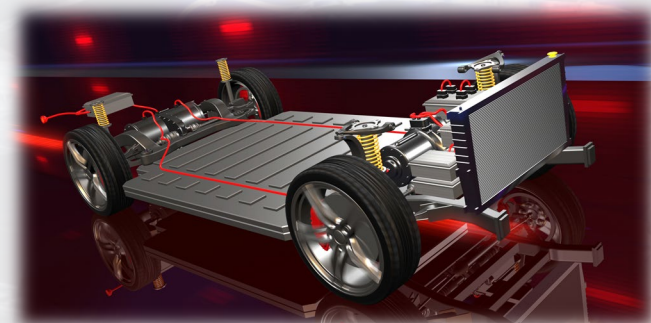
車体内装



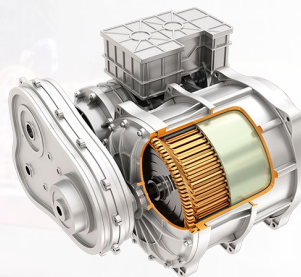
車体外装



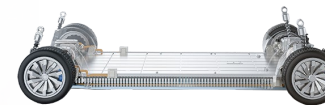
車体塗装



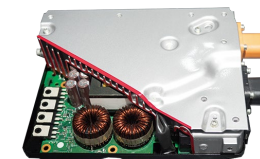
パワートレイン
領域



e-Axle



ギガキャスト製品



インバーター



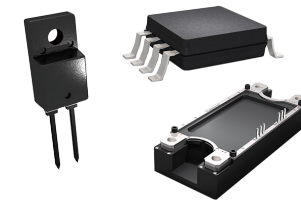
自動運転・安全
領域



カメラ



ECU



パワー半導体



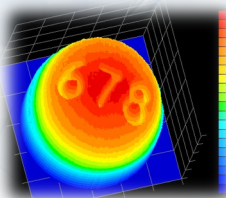
世界中の企業における生産性と品質を飛躍的に高めることにより、人々の健康に貢献すること

錠剤外観検査システム 錠剤印刷検査システム



viswill

第一実業ビスウィル社製
錠剤外観検査システム



各種医薬品包装機



ターンキーエンジニアリング

POINT

当社エンジニアが理想の
製造ラインの構想設計を実施

- ・ 要求仕様書の策定
- ・ メーカー選定時の比較資料作成
- ・ バリデーション工程の管理
- ・ 納期調整・現地工事の監督業務

POINT

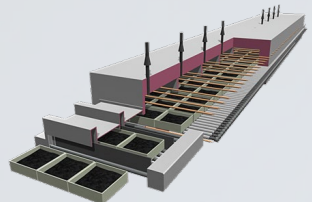
導入から廃棄まで寄り添う
アフターサービス・ポリシー

計画・実施・サポート

- ・ バリデーション業務
- ・ コミッショニング（性能検証）
- ・ クオリフィケーション（品質保証）



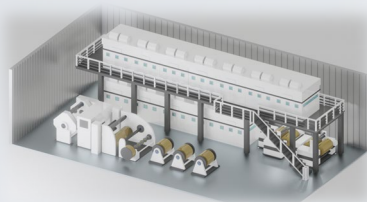
次世代エネルギー分野を通じてサステナブルな社会を実現



材料関連装置

電池材料となる正極材や負極材の混合、合成、加工

- ・ 粉体混合機
- ・ 焼成炉
- ・ 粉碎機
- ・ 充填機



電極製造装置

シート状の電極(正極・負極)を製造

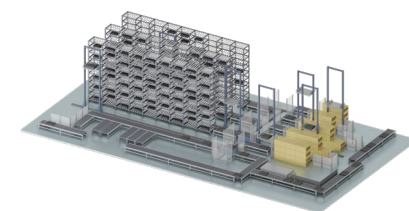
- ・ 混練機
- ・ 塗工装置(コーター)
- ・ ロールプレス機
- ・ スリッター



セル製造装置

正極、負極をセパレータと合わせ、電池セルのパッケージング

- ・ 巻回機
- ・ 積層機
- ・ 電池組立装置
- ・ 電解液注入機
- ・ X線検査装置
- ・ リーク/気密検査装置



検査装置

完成した電池に充放電テストを実施、最終検査

- ・ 充放電検査装置
- ・ OCV/DCIR/ACIR
- ・ 検査工程搬送(タクトシュミレーション)
- ・ 出荷梱包/パレ・デパレ
- ・ 各種検査装置
- ・ モジュール/パック装置

リチウムイオン・バッテリー生産における各工程の機器を提供

製造工程の上流から下流までのトータルソリューションを提供しています



空港・航空分野



牽引車
(トラクター)



防除氷車
(デアイサー)



コンテナローダー



グリコール回収車



空港用除雪車



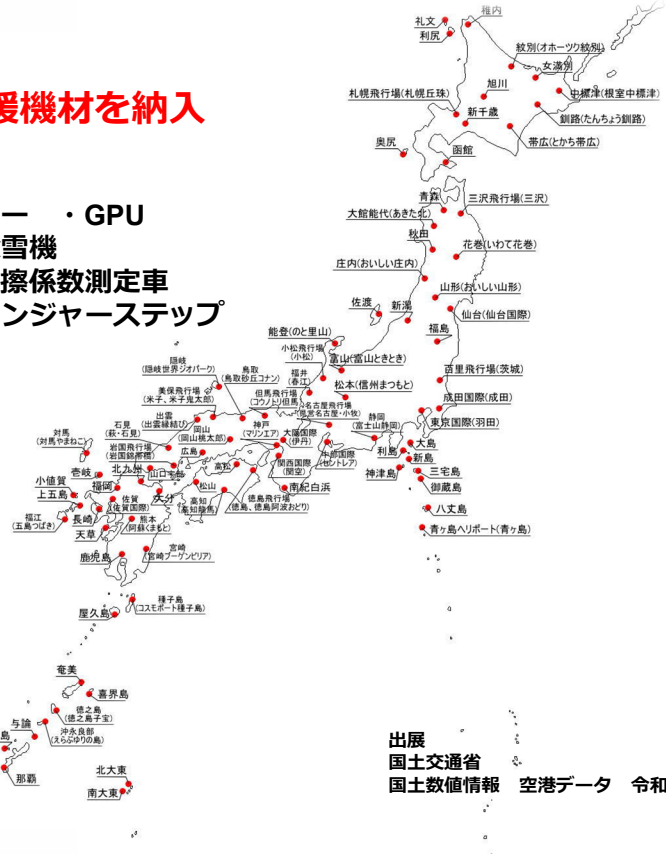
摩擦係数測定車

納入累計台数：2000台+α

日本の全空港に地上支援機材を納入

【主な器材】

- ・トラクター ・エアスターター ・GPU
- ・デアイサー ・スノーピー除雪機
- ・ARFF 空港化学消防車 ・摩擦係数測定車
- ・ハイリフトローダー ・パッセンジャーステップ
- ・三輪清掃車 ・拡幅車 など



出展
国土交通省
国土数値情報 空港データ 令和2年度版

防災・防衛分野



特殊救護車
(スーパーアンビュランス)



指揮系統車
(コマンドカー)



パッセンジャーステップ

CS (保守点検・修理・部品)



部品供給



オーバーホール



技術・操作
トレーニング



組立



家電/住宅設備/食品包装/医療用機器等の製造分野において、生産性向上のため多種多様なお客様のニーズを具現化



樹脂成形機



家電



住宅設備



産業資材



食品容器
部品トレイ



医療



建設機械/農業機械



真空成形機



塗装システム



組立・自動化・省力化設備

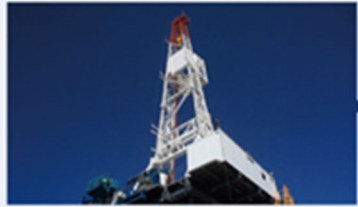
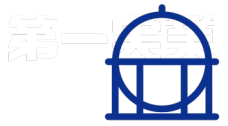
■ アグリ：イチゴ培養苗

当社ベリーズファームで生産するイチゴ苗の特徴

- ・最先端の液体培養システムで、メリクロン苗の大量増殖が可能
- ・閉鎖型植物工場の病害虫対策を徹底しクリーンな環境で生産
- ・季節を問わず一年中イチゴ苗を供給



イチゴ生産者を悩ます育苗の手間と苦勞を大幅に削減



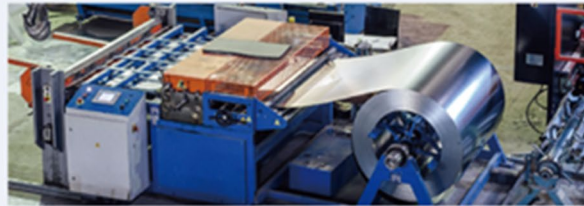
エネルギー資源業界



製油所



石油化学・化学工場



金属類(鉄・アルミ・レアメタル)



発電所

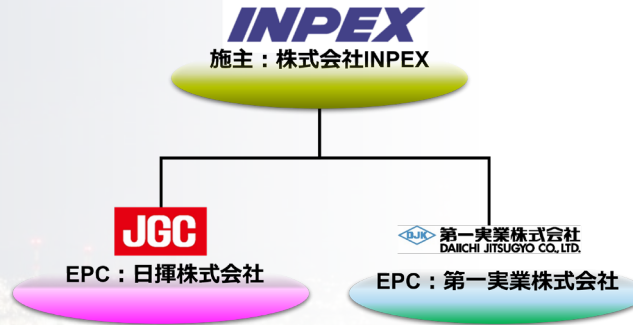


製紙

燃料(石炭・天然ガス)

森林/植林

<国内初>ブルー水素・アンモニア製造・利用一貫実証試験



つばめBHB(株)製
低温・低圧オンサイト型アンモニア合成設備

田原バイオマス発電所

バイオマス発電の特長
動植物由来の燃料を用い、
自然条件に左右されず安定発電

プロジェクト概要
出力5万kWのバイオマス発電所(コンソーシアム参画)
2025年4月に営業運転開始、20年間のアフターサービス提供

当社の役割
発電プラントの建設工事を担当、田原バイオマス発電所合同会社へ出資



日本政府の重点17領域中12領域をカバー



AI・半導体

生成AI・ロボット開発加速、
国産半導体サプライチェーン強化



造船

造船再生ロードマップで生産能力
拡大、船舶部品を重要物資指定



株式会社第一メカテック

合成生物学・バイオ

バイオ素材・再生医療設備投資、
人材育成支援



航空・宇宙

次期航空機・衛星コンステレーション
整備、サプライチェーン強靱化



フードテック

スマート農業・植物工場投資、
代替タンパク開発



資源・GX エネルギー安全保障

次世代炉・再エネ・
レアアース開発実証



防災・国土強靱化

インフラ更新・
災害リスク評価投資



創薬・先端医療

新薬創出・再生医療・
ゲノム医療支援



マテリアル（重要鉱物）

レアメタル備蓄・
リサイクルサプライチェーン強化



防衛産業

防衛費GDP2%前倒し、
デュアルユース技術育成



情報通信

オール光ネットワーク・
データセンター分散



海洋

海洋資源開発・無人探査機実証



その他：量子、コンテンツ（アニメ・ゲーム）、デジタル・サイバーセキュリティ、フュージョンエネルギー、港湾ロジスティクス

AIデータセンター需要を捉える4つの注力領域

電力・蓄電池


-  プラント・エネルギー
-  エネルギーソリューションズ

リチウムイオン電池、燃料電池、次世代電池など次世代エネルギー分野でソリューション提供

AI電力需要の増加に対し、受配電・蓄電・エネルギーマネジメント周辺の提案



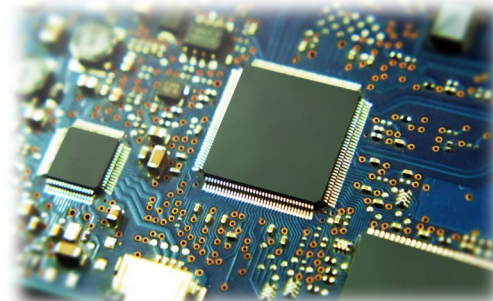
半導体・実装関連

-  エレクトロニクス
-  産業機械
-  プラント・エネルギー

SMT,電子デバイスシステム
物流自動化ソリューション「LOGITO」
を通じモノづくりプロセス改革を支援

電子回路・半導体などの製造プラント
高信頼性材料の製造

周辺自動化ニーズへの展開



データセンター

-  産業機械
-  プラント・エネルギー
-  エレクトロニクス

液冷・水冷設備や周辺インフラ

データセンター周辺ソリューション

【展示会情報】

Data Center Summit

- ・2026年6月10日(水)~12日(金)
- ・幕張メッセ



脱炭素

-  プラント・エネルギー
-  エネルギーソリューションズ

水素・アンモニア、CCS/CCUS、FS・FEED支援など
脱炭素関連のソリューション提案

再エネ・低炭素電源の活用や
顧客のCO2削減ニーズへの対応

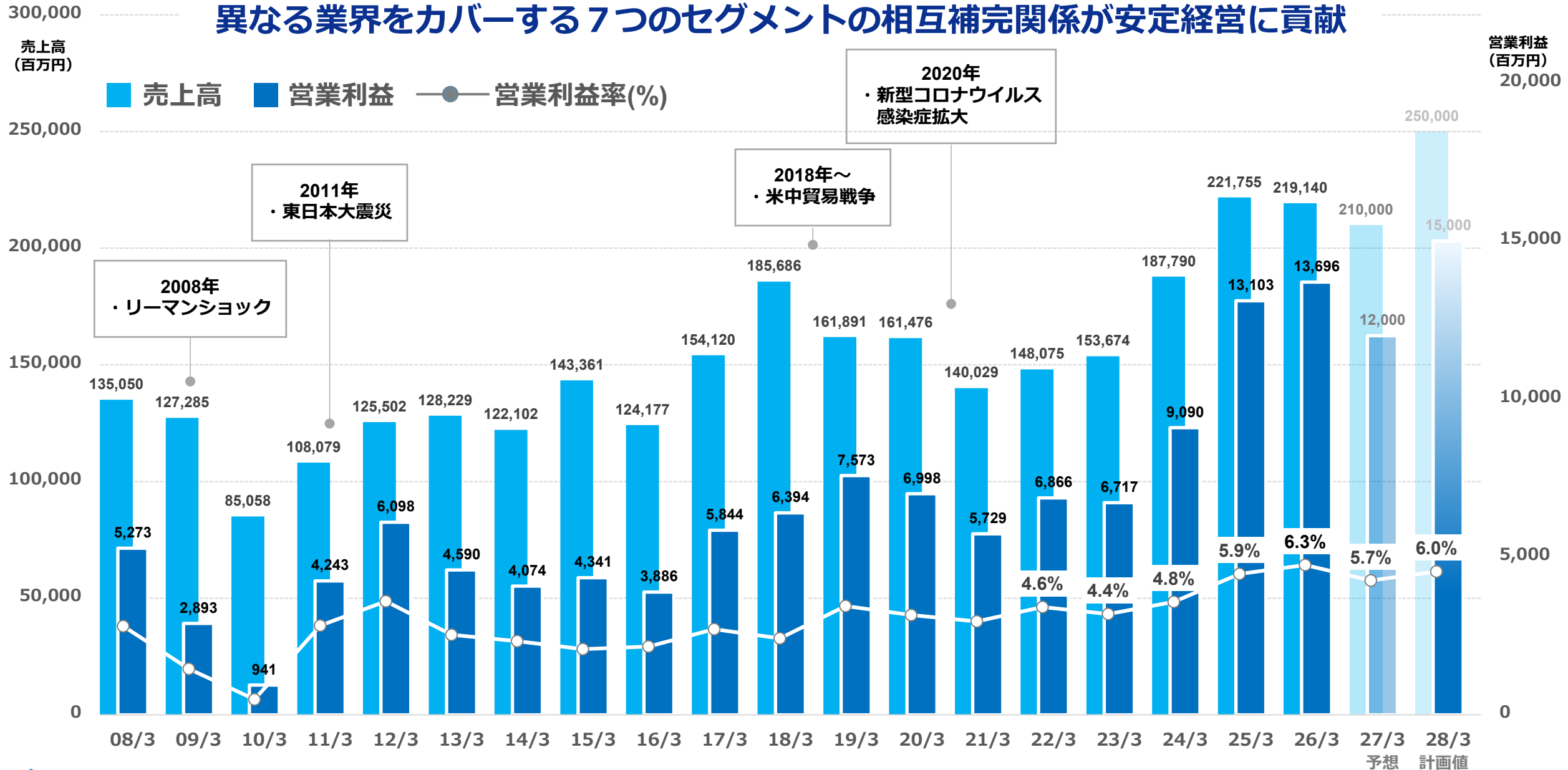
ペロブスカイト太陽電池



03 業績予想・成長戦略

連結業績の推移

異なる業界をカバーする7つのセグメントの相互補完関係が安定経営に貢献



DAIICHI JITSUGYO

© DAIICHI JITSUGYO CO.,LTD.2026

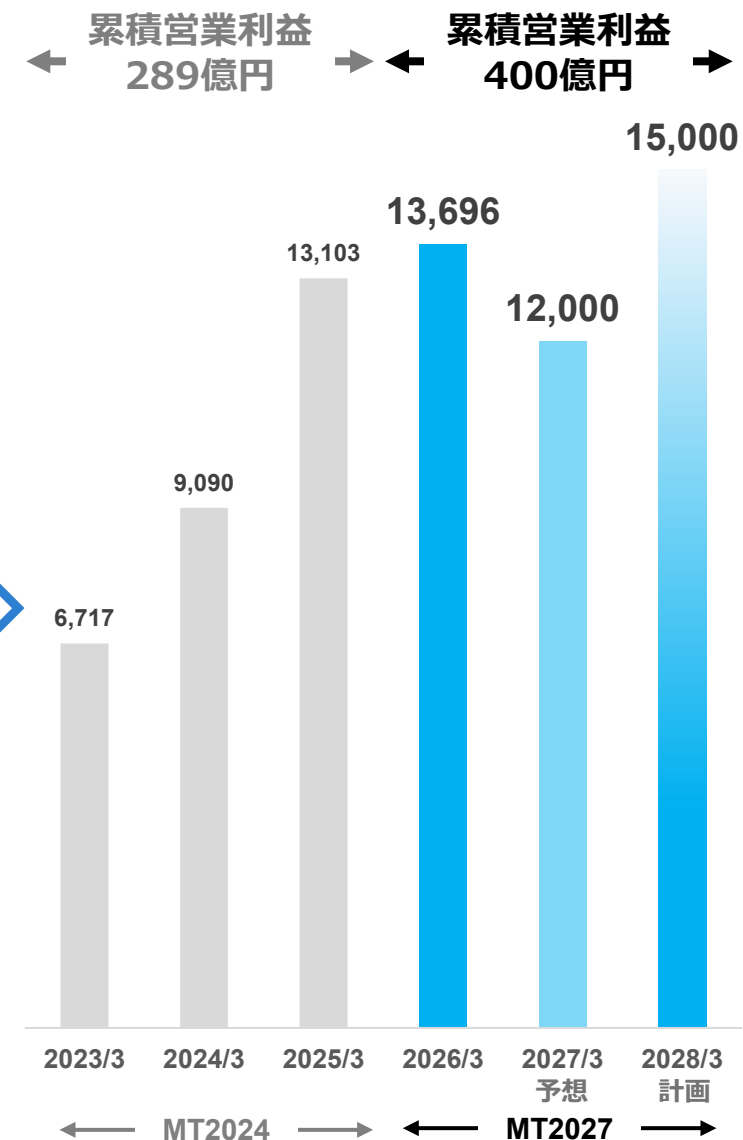
← MT2024 →

← MT2027 →

2027年3月期 通期業績予想

- 「MT2027」 2年間合計営業利益 237億円（計画比103%）を予定
- 月例給与水準のベースアップによる人的資本投資の強化

営業利益の推移 単位：百万円



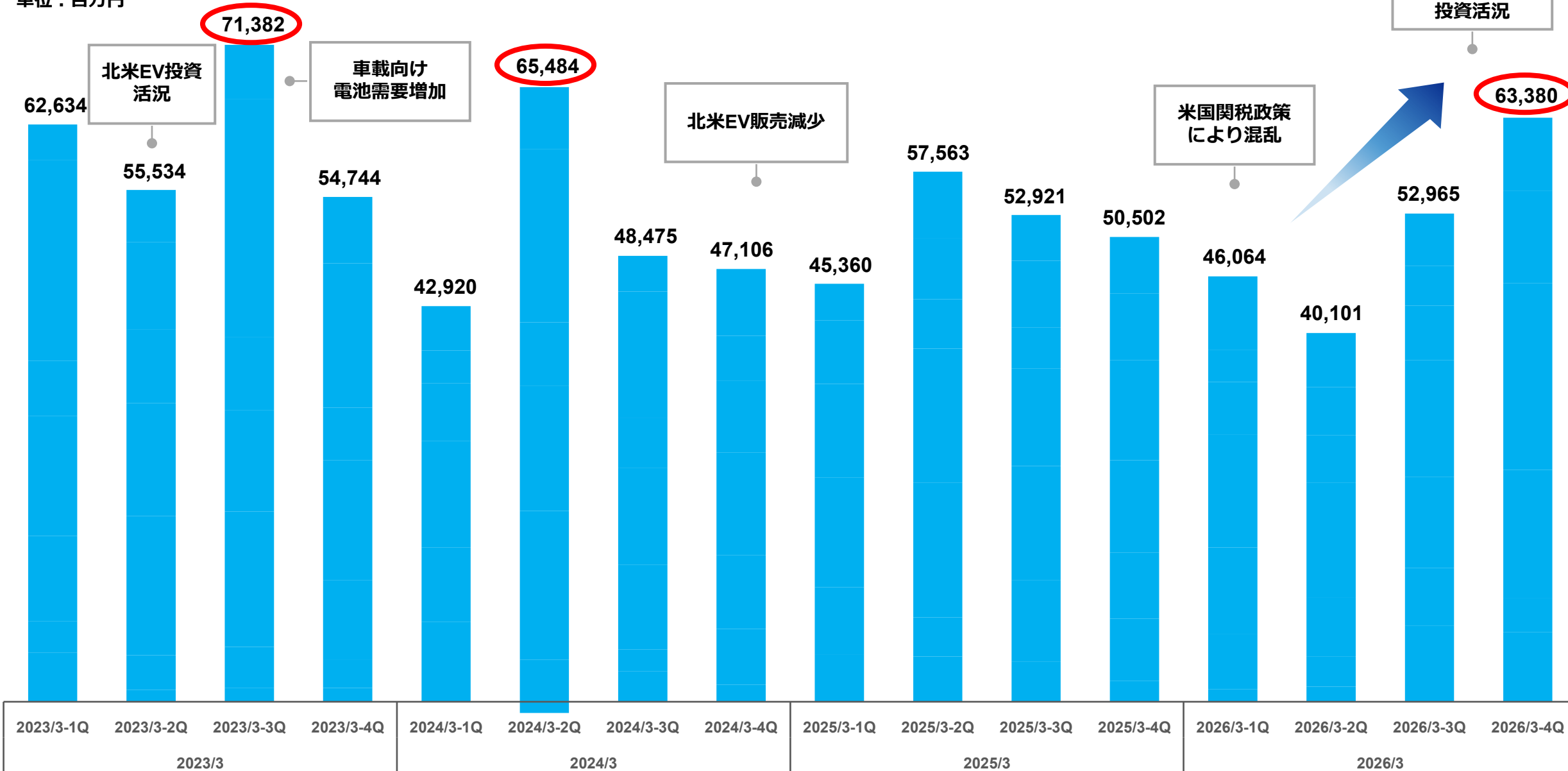
単位：百万円

	2026/3	2027/3	2028/3
	実績	通期予想	MT2027 (3年目計画)
受注高	202,512	240,000	270,000
売上高	219,140	210,000	250,000
営業利益	13,696	12,000	15,000
経常利益	14,353	12,400	14,750
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,951	9,400	10,300
ROE	11.7%	10.2%	10%以上



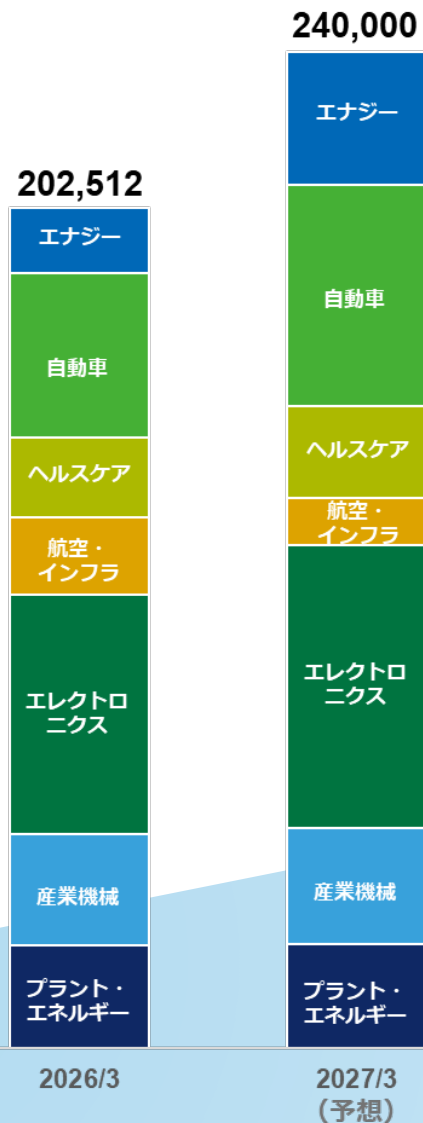
受注高の推移（四半期毎）

単位：百万円



成長戦略「V2030」

受注高



受注面でのトピックス

⚡ エナジーソリューションズ

- ・EV向け車載用電池の製造ライン
- ・データセンター向け定置用蓄電池
- ・電池製造の全工程一括ライン

🚗 自動車

- ・インド二輪安全規格強化によるABS関連装置
- ・自動運転・先進運転支援システム用自動組立ライン
- ・自動組立装置や外観検査装置のグローバル販売

🔧 エレクトロニクス

- ・AIサーバー向け実装機
- ・AIチップ用パッケージ基板・半導体後工程設備
- ・中国・アジア市場向けの需要の取り込み

売上高
2,500億円

営業利益
150億円

* 2028年3月期 (3年目計画値)

MT2027

売上高
3,000億円

営業利益
180億円

* 2031年3月期 目標値

V2030

投資の重点ポイント

💊 ヘルスケア

医薬品製造ラインのサプライチェーン強化
化粧品、健康食品、バイオへのエンジニアリング強化

✈️ 航空・インフラ

成長が見込まれるインフラ分野への投資

04 株価・株主還元

配当金・配当性向

配当方針

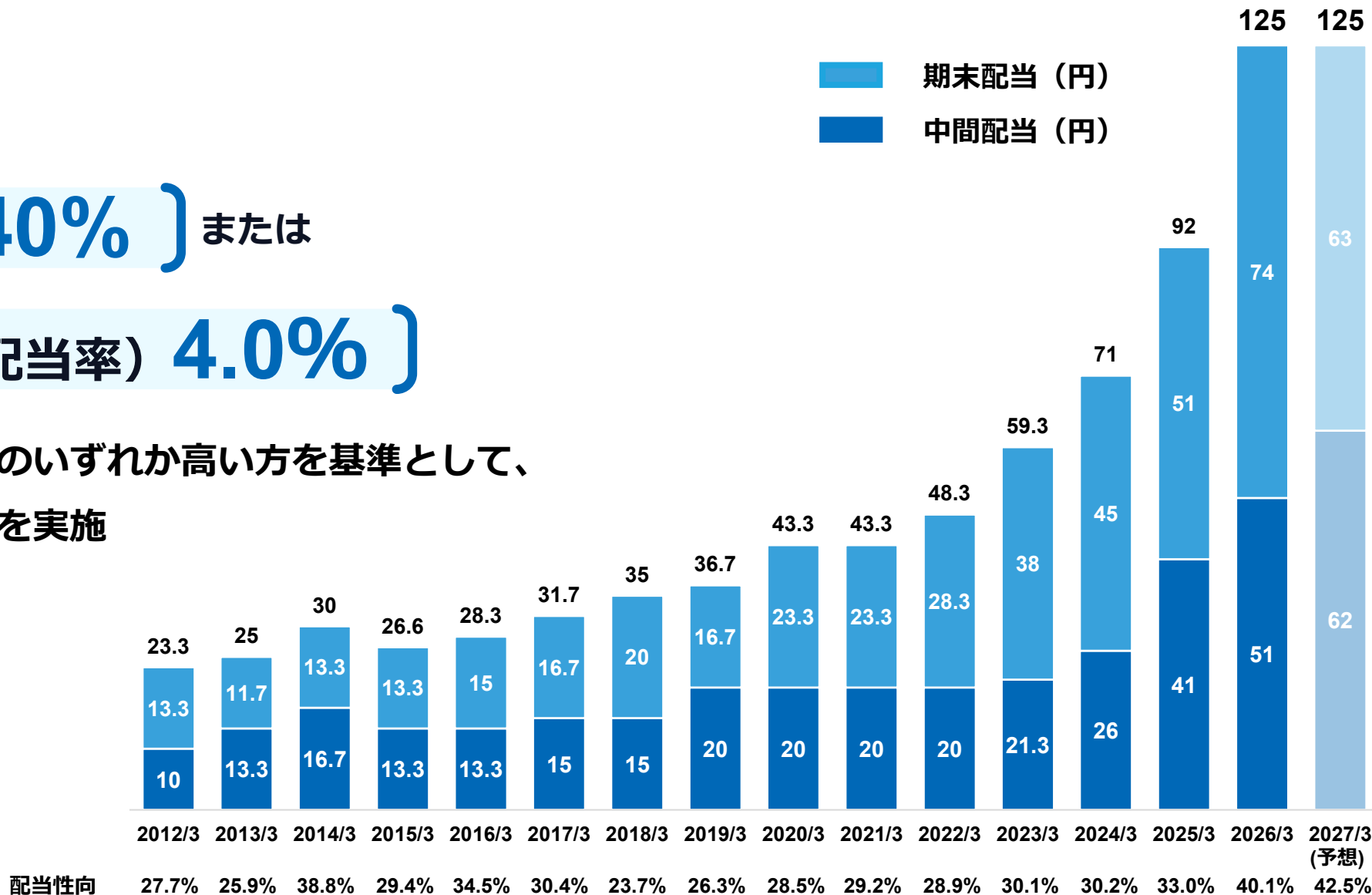
一株当たり年間配当金を

連結配当性向 40% または

DOE (株主資本配当率) 4.0%

の各基準で算出した金額のいずれか高い方を基準として、
継続的かつ安定的な配当を実施

■ 期末配当 (円)
■ 中間配当 (円)



注：2023年10月1日付けで普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しております。掲載の年間配当金は株式分割考慮後の数値を記載しております。

株主還元 自己株式の取得

取得方法	市場買付
取得する株式の種類	当社普通株式
取得する株式の総数	500,000 株（上限） 発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合1.6%
株式の取得価額の総額	20 億円（上限）
株式の取得期間	2026年5月13日～2026年9月30日
取得後の取り扱い	消却を予定

(ご参考) 2026年3月31日時点の自己株式の保有状況

発行済株式総数（自己株式を除く）

31,928,893株

自己株式数

830,307株

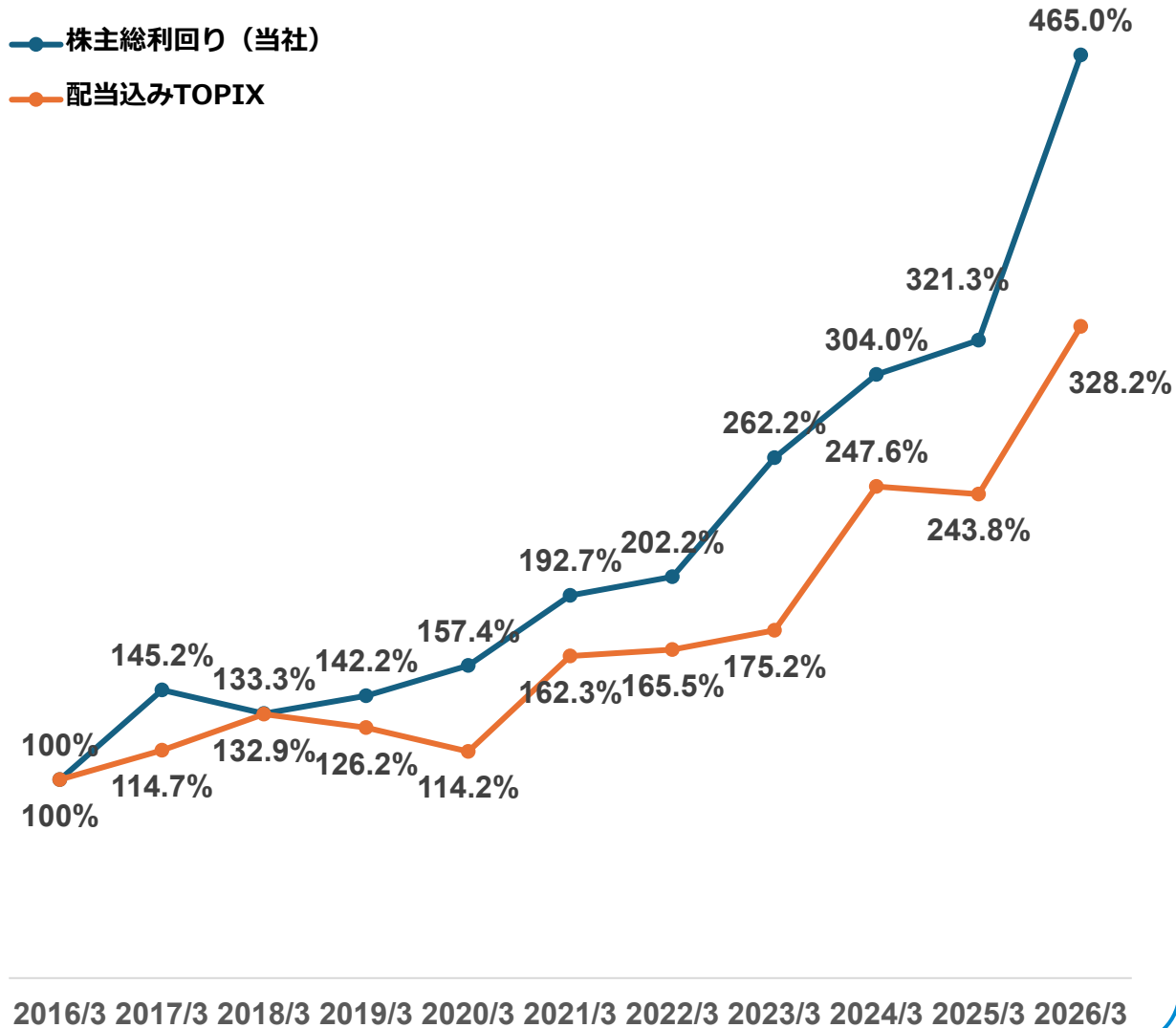
取得理由

① 資本構成の最適化

② 株主還元の充実

株主還元 株主総利回り（TSR）の向上と株主優待の新設

【株主総利回り（TSR）】



「第一実業・プレミアム優待倶楽部」を新設

【制度新設の目的】

株主様への還元強化と魅力向上

投資魅力を高め、より多くの方に保有いただくため

株主基盤の拡大

長期保有株主の増大による株主基盤の拡大と株主構成の安定

【対象となる株主様】

2026年以降、毎年9月末日の当社株主名簿に記載又は記録された100株（1単元）以上保有の株主様

【優待制度の3つのポイント】

- ① 保有株数に応じたポイント進呈（2026年9月末基準より）
- ② 長期保有のメリット（ポイント繰越）
- ③ 5,000種類以上の商品から選べるポイント制

詳しくは、当社株主様限定
特設ウェブサイト「第一実業・プレミアム優待倶楽部」よりご確認ください。

<https://djk.premium-yutaiclub.jp>（6/3より閲覧可能）

当社の適時開示資料はこちらからご確認ください。
[株主優待制度の新設に関するお知らせ](#)



世界のモノづくりに、創造の翼を。



参考資料

■ 2026年3月期 決算概要

■ 連結財政状態の推移

■ 連結業績の推移

■ 中期経営計画「MT2027」 定性目標の進捗

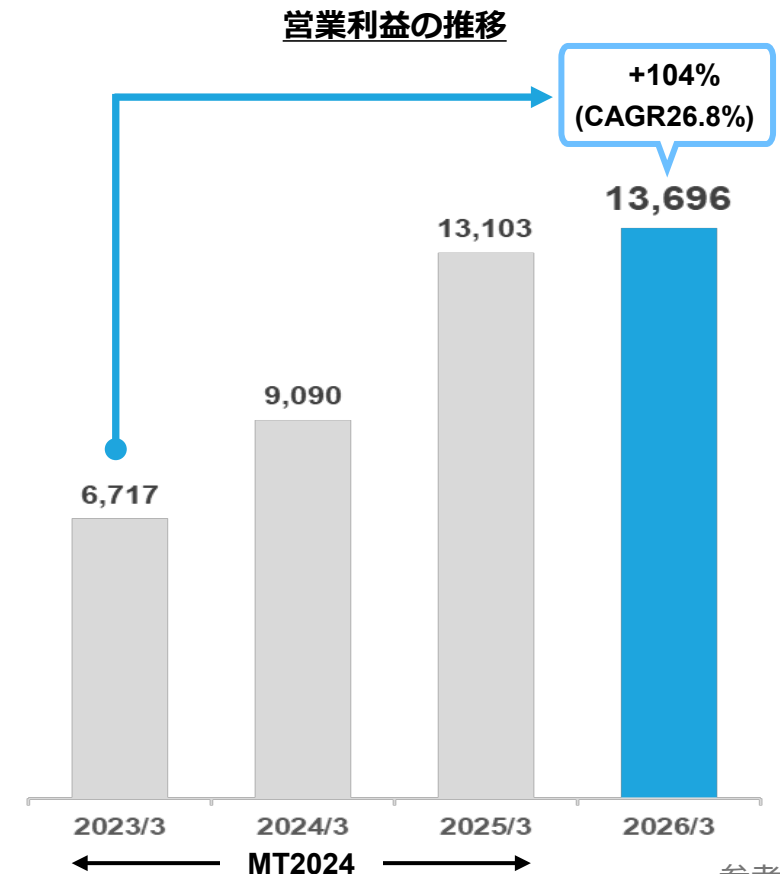
2026年3月期 連結決算概要

単位：百万円	2025/3	2026/3	
	実績	実績	前期比
受注高	206,348	202,512	▲ 1.9%
売上高	221,755	219,140	▲ 1.2%
営業利益	13,103	13,696	+ 4.5%
経常利益	13,597	14,353	+ 5.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,841	9,951	+ 12.6%
E P S	278.57円	311.77円	+ 33.20円

売上高は横ばいながら各段階利益は過去最高を更新

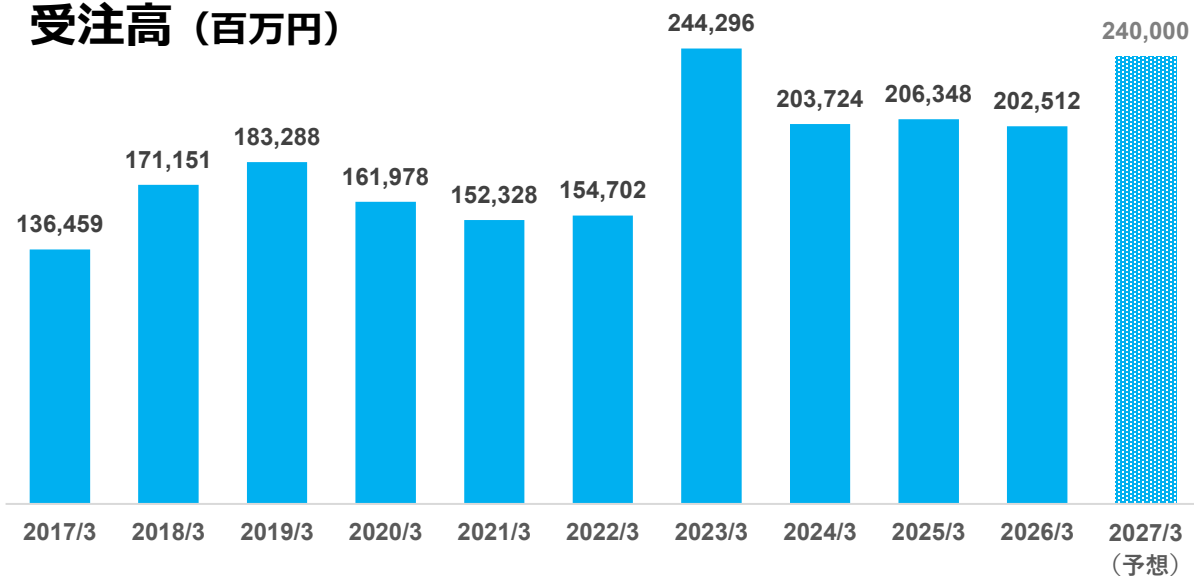
- ・収益性改善により営業利益率6.3%を達成
- ・受注高は計画値を下回る結果も、後半挽回

自動車、ヘルスケア、航空・インフラ事業が業績けん引
インドエリアが大きく伸長（産業機械・自動車事業）

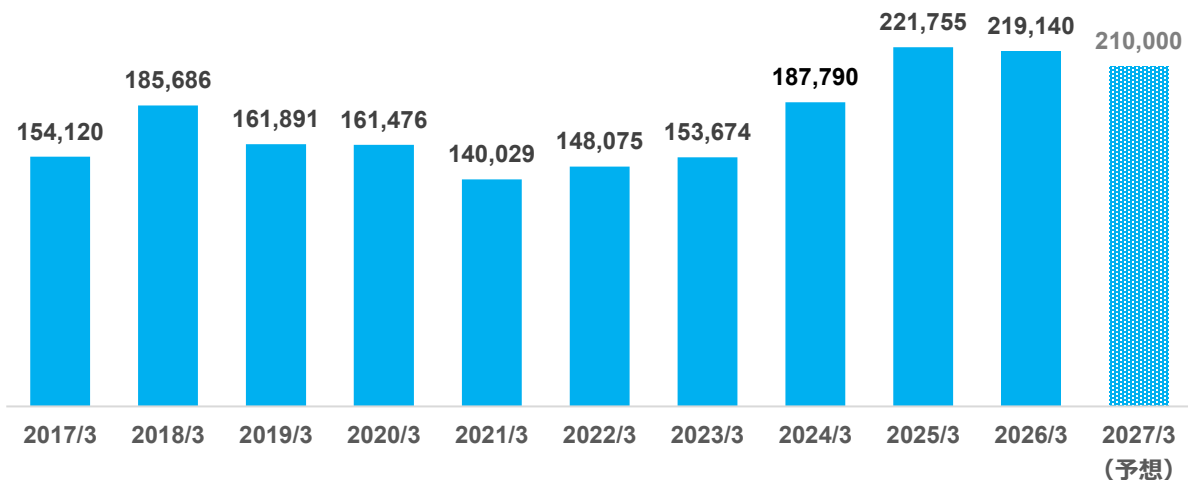


連結業績の推移

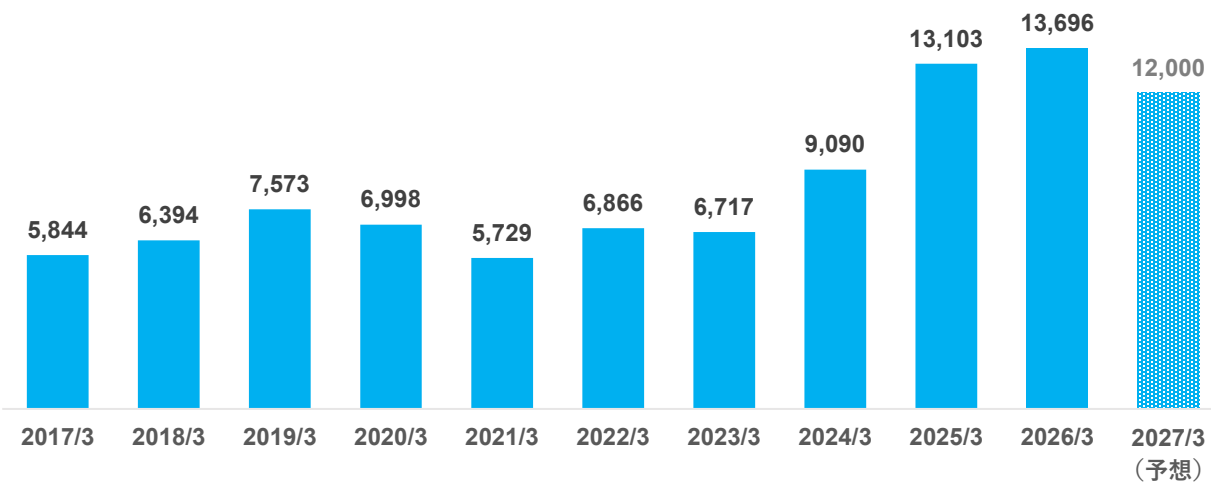
受注高 (百万円)



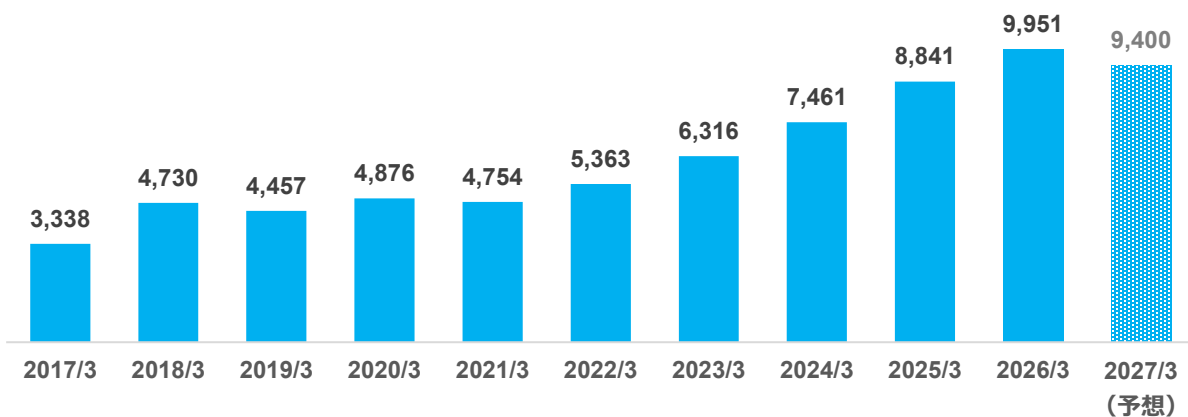
売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)

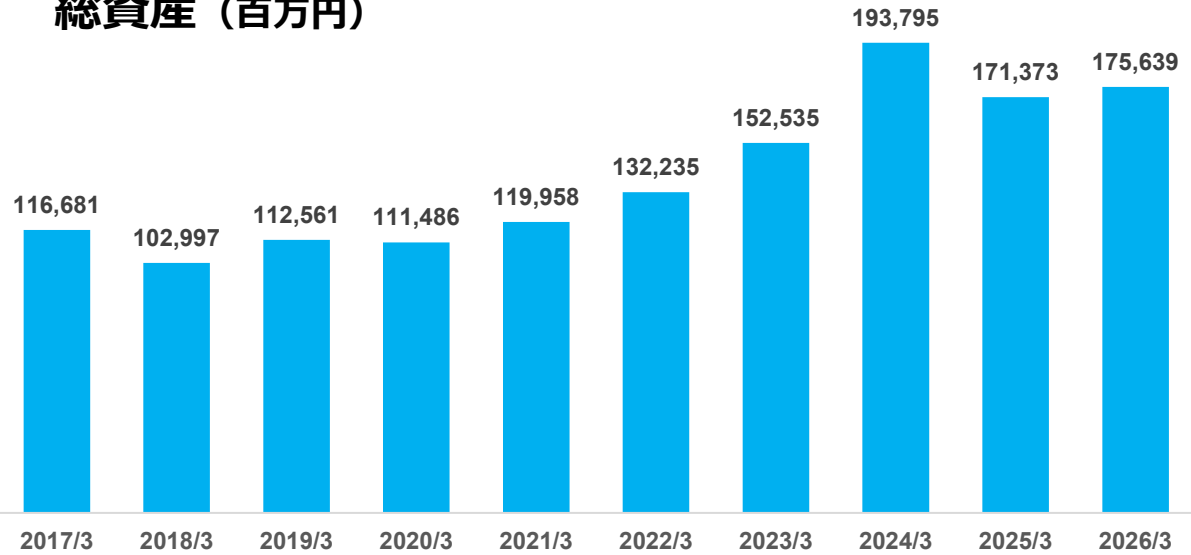


親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)

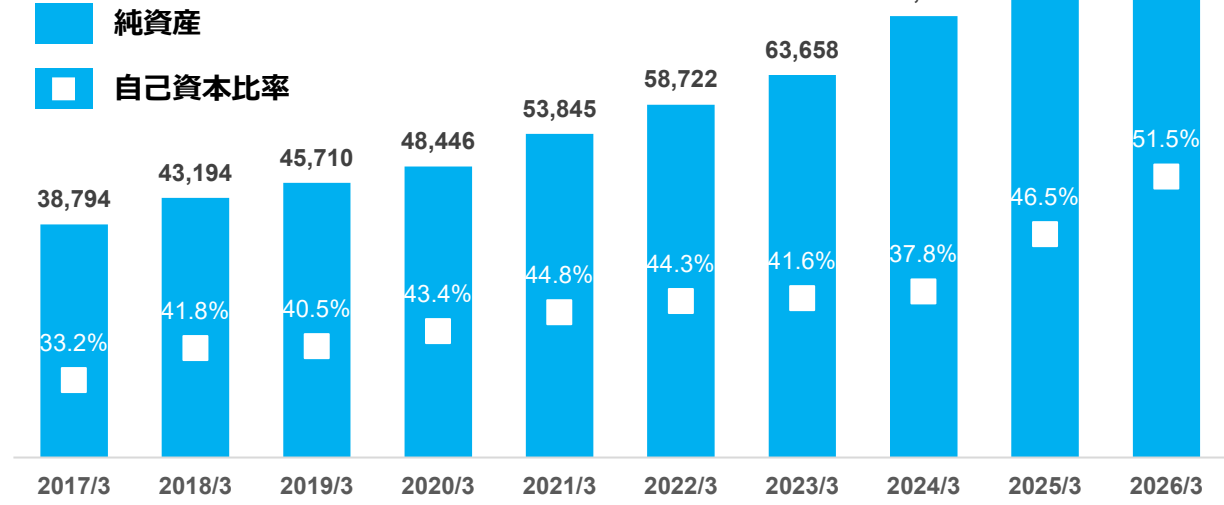


連結財政状態の推移

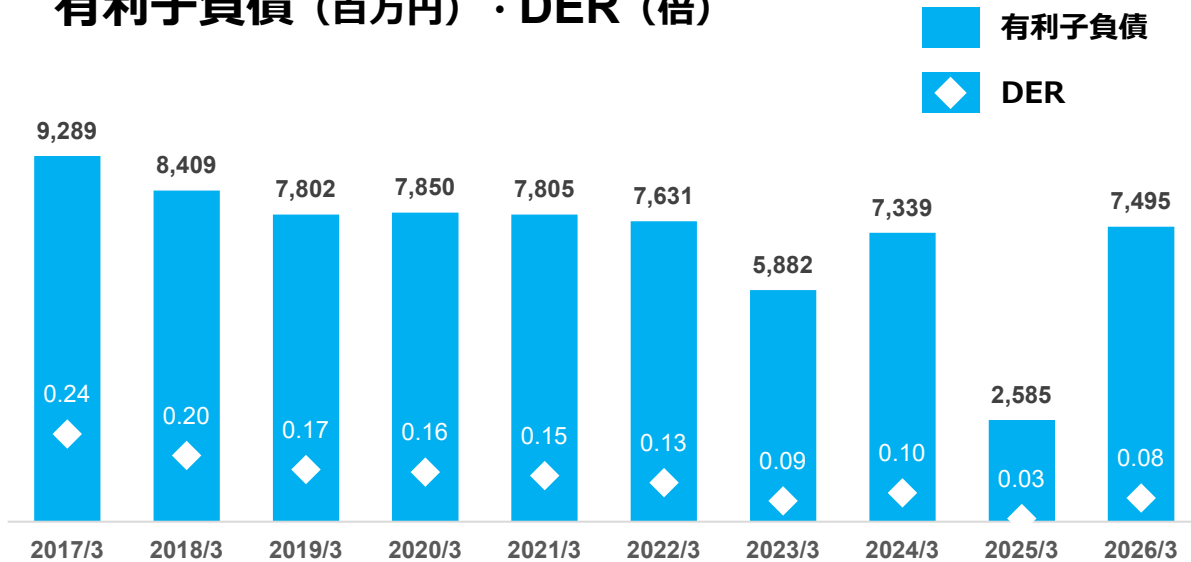
総資産 (百万円)



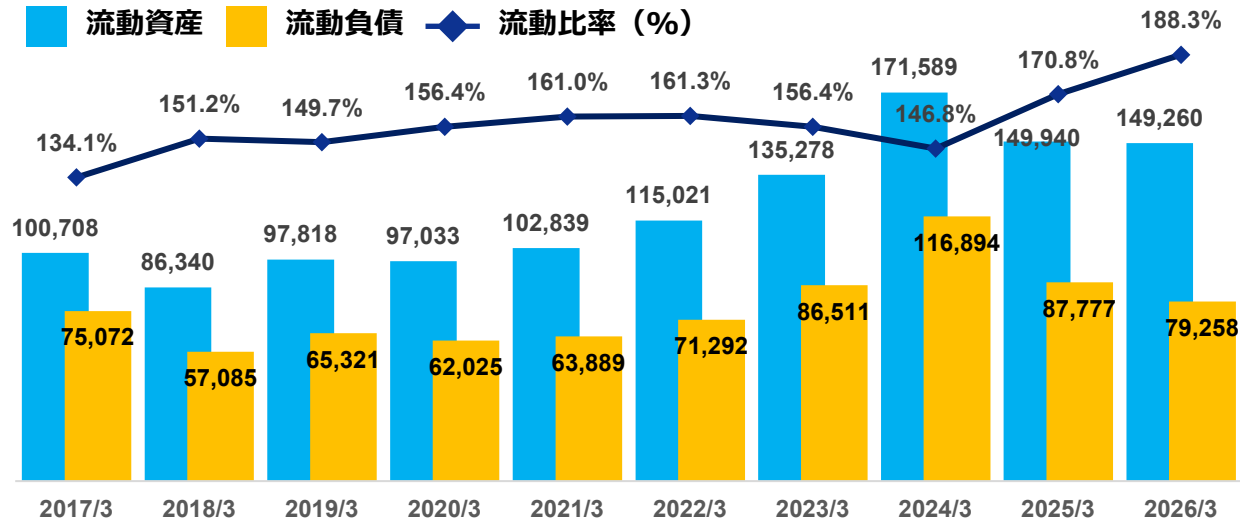
純資産 (百万円) ・ 自己資本比率 (%)



有利子負債 (百万円) ・ DER (倍)



流動資産・負債 (百万円) / 流動比率 (%)



中期経営計画「MT2027」 定性目標の進捗

収益構造の変革が結実し過去最高益を達成。強靱化した財務基盤で還元と投資を両立

戦略骨子	進捗	1年目の主な成果と今後の取り組み	
成長を加速する 事業戦略	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポートフォリオ最適化： 小型バイナリー発電装置の製造権および販売権の事業譲渡 ・ エンジニアリング強化： ソリューション提供が浸透し、営業利益率6.3%を達成 ・ グローバル： 重点エリアのインドでは、産業機械事業、自動車事業の売上が伸長 	営業利益率向上 高付加価値化
	△	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業投資： NITTOKU FA INDIAへの出資 事業の基盤強化とシナジーを重視した選別を徹底、今期より事業投資を本格化 	成長ドライバー創出
変化に対応する レジリエントな 経営基盤	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・ ガバナンスとリスク管理の強化： 調達ルールの厳格化等により、リスクリテラシーとガバナンス体制が大幅に向上 ・ DX/人的資本： バックオフィス業務の効率化 	企業価値向上
	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資本効率の最大化： 自己株式の取得・配当維持を決定 財務戦略と事業成長の両輪で、資本コストを意識した経営を徹底 * 2025/3 PBR : 0.87倍 ROE : 11.6% ⇒ 2026/3 PBR : 1.14倍 ROE : 11.7% 	

営業利益率

6.3%

収益性の改善

営業利益

137億

過去最高益

年間配当

125円

配当性向40.1%

自己株式の取得

最大50万株

資本構成の最適化

WEBサイトのご案内

第一実業WEBサイト

2025年7月18日にWEBサイトを全面リニューアルいたしました。当社への理解の促進を目的として「DJK Value」を新設し、当社の企業競争力を基軸としたコンテンツを掲載しています。事業内容やサステナビリティ、株主・投資家情報などについても、より充実した内容といたしました。是非、ご覧ください。



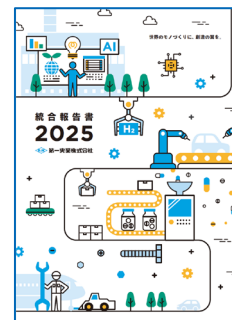
<https://www.djk.co.jp/>



IR資料のご紹介

01 統合報告書

<https://www.djk.co.jp/ir/library/report/>



統合報告書2025では、
当社の財務・非財務情報を総合的に
ご確認いただけます。



02 決算関連資料

<https://contents.xj-storage.jp/objects/AS03440/4429c2cb/ef1d/4ece/9f9e/5c15956d40b7/ir.zip>

営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
2024年1-3月	2023年1-3月	2024年1-3月	2023年1-3月	2024年1-3月	2023年1-3月	2024年1-3月	2023年1-3月
152,130	154,700	44,200	46,700	143,000	108,000	42,000	47,000
4,200	4,200	1,700	1,700	2,500	2,500	2,500	2,500
147,930	150,500	42,500	45,000	140,500	105,500	39,500	44,500

決算説明資料・ファクトシートなどの
最新のIR資料をダウンロードいただけます。



03 個人投資家の皆様へ

<https://www.djk.co.jp/ir/individual/>

個人投資家様へのコンテンツをご用意しております。



第一実業株式会社

世界のモノづくりに、 創造の翼を。

 **第一実業株式会社**

現場を見る。課題に耳を澄ます。
最適な機械と、より良い生産の仕組みを考える。
これらはすべて、わたしたち第一実業のしごとです。

人と人をつなぐ。技術と技術をつなぐ。
ユーザーのモノづくり企業と、産業機械のメーカーをつなぐ。
わたしたちは、単なる機械商社ではなく、
独自のエンジニアリングを通じて、
日本の、そして世界のモノづくりを支えてきました。

時代が変われば、世の中のニーズも変わります。
国内と海外ではなく、国境のない事業環境へ。
実体のある製品から、サービスやソリューションへ。
顧客課題だけでなく、社会課題も考えるビジネスへ。
サステナブルな社会の実現にむけて、
既存技術と新たなテクノロジーの融合が期待されています。

あらゆる製造現場を支え、新たな付加価値を提供する。
お客様とともに成長し、豊かな社会に貢献する。
世界のモノづくりに、創造の翼を。
第一実業はこれからも、
世界中のお客様とともに未来へと羽ばたきます。

